



市民の誓い 私たちは 水を生かし 緑を広げ 安全に努め 心を育て 助け合います



大垣市未来ビジョン 第1期基本計画決まる

総合計画審議会(会長 石原健一)は昨年11月7日、市長に対し、大垣市未来ビジョン第1期基本計画(案)を答申しました。市では答申を踏まえ、平成29年第4回市議会企画総務委員会に報告し、第1期基本計画を決定しました。

同審議会は市民及び各界の代表36人で構成され、今年度は、小川市長から第1期基本計画(素案)の諮問を受け、3部会に分かれての審議を含め、延べ15回にわたり審議が行われました。

決定した第1期基本計画は、平成30年度から34年度までの5か年を計画期間としています。昨年3月に策定した基本構想における未来都市像「みんなで創る 希望あふれる産業文化都市」の実現に向け、重点的に取り組む「未来創造戦略」と、未来都市像を構成する6つのまちの姿を定めた未来のピース毎に、各分野における施策、主な取り組みなどをまとめた「分野別計画」を掲げています。

未来創造戦略には、「安心できるまちづくり」、「元気があるまちづくり」、「楽しく子育てができるまちづくり」の3つを掲げ、計画期間内において優先的かつ重点的に取り組む内容を示しています。

分野別計画には、35の分野および89の施策を定めており、ピース1「みんなが住みやすいまち」では、土地利用・市街地、

総合交通・道路、情報通信などの7つの分野・17の施策を掲げています。ピース2「みんなが元気なまち」では、産業、商業、観光などの6つの分野・15の施策を掲げています。ピース3「みんなが安心するまち」では、治水、防災、生活環境などの6つの分野・15の施策を掲げています。ピース4「みんながあつたかいまち」では、健康、

地域福祉、人権などの8つの分野・18の施策を掲げています。ピース5「みんなが成長するまち」では、子育て支援、学校教育、文化振興などの6つの分野・19の施策を掲げています。ピース6「みんなが主役のまち」では、市民協働、行政経営の2つの分野・5つの施策を掲げています。

今後、市は第1期基本計画の具体的な事業を示す「実施計



未来の大垣を担う子どもの成長を支援

画」の策定を進めます。なお、未来ビジョンの内容をまとめたリーフレットは、4月に全戸配布を予定しています。大垣市未来ビジョンについてのお問い合わせは、地域創生戦略課(☎47-8216)へ。

* * * *

市制100周年記念 「奥の細道」日本遺産登録推進シンポジウム

とき 3月3日(土) 午後1時~4時

ところ 総合福祉会館 5階ホール

▶日本遺産登録推進トーク

「真鍋かをりが語る『旅のススメ』と題して、タレントでおひとり様トラベラーの真鍋かをりさん=写真=が、「旅」のススメや魅力を語るトークショー



▶パネルトーク

「日本の宝!『奥の細道』の魅力語る」と題して、奥の細道ゆかりのまち、宮城県松島町・富山県高岡市・大垣市の首長による奥の細道の観光活用についての意見交換

▶プレゼント抽選会

奥の細道ゆかりの都市などの特産品が当たる抽選会

*定員/250人(先着順)

*申込/1月15日~2月28日に、住所・氏名・年齢・性別・電話番号・メールアドレスを記入のうえ、大垣観光協会「日本遺産登録推進シンポジウム」係(〒503-0923 大垣市船町2-26-1、FAX81-8828、e-mail:ogakikanko@ogakicci.or.jp)へ

*問合せ/大垣観光協会(☎77-1535)



1月15日号 主な内容

- ▶医療費助成の見直し、各種税申告のお知らせなど...2~3P
- ▶特集:利用したい子育てサービス...4~5P
- ▶消防出初表彰、講座・募集のお知らせなど...6~7P
- ▶催しのお知らせ、市民伝言板など...8~9P
- ▶健康ガイド...10~11P
- ▶東西俳句相撲の観戦者募集、大垣まるごとミュージアム探訪の参加者募集、大垣市景観遺産を新たに指定...12P

また、未来の大垣を描いたアニメ映像を上映し、幅広い年代に楽しんでいただきます。その他、文化・スポーツなど各分野にわたって、市民提案事業を含めた市民総参加の100周年記念事業を行いますので、皆さん一緒に盛り上げていきましょう。



今年のテーマの漢字「栄」

新年を迎えて



市長のかがやきメール 大垣市長 小川 敏

本市は大正7年4月1日、岐阜市に次いで県下2番目に市制を施行しました。今年にはちょうど市制100周年ということ、特別な感慨をもって新年を迎えました。これまで産業文化都市として、大垣を発展させてきた先人の活躍に敬意を抱くと同時に、さらなる飛躍を期待するものです。

昨年、来年度から始まるまちづくりの長期計画「大垣市未来ビジョン」を策定しました。未来都市像や各分野別の施策を描くなかで、今後は、ロボットやAI(人工知能)などが活躍する世の中になると思われます。そうした時代にふさわしく、大垣らしい事業を行ってまいります。

5月には、「ロボカップジャパンオープン2018 おおがき」を開催します。秋には、最新ロボットや最先端技術を紹介する「おおがき未来フェスティバル」の開催や、未来を担う小中学生たちによる「子どもの誓い」の発表があります。そして来月1月には、ロボカップジュニア大会の地区予選を大垣で開催する予定です。今後は最先端技術などによる行政サービスの充実や、ロボット関連産業の育成を図ってまいります。